

- 歴史講座 13:30~15:00**
- 歴史講座① 明治期以降の今治城  
日 時:5月7日(土)  
講 師:政次 加奈子氏(一般財団法人今治文化振興会今治城学芸員)
- 歴史講座② 源氏物語講座 柏木と女三宮の運命と薫の誕生①  
日 時:5月21日(土)  
講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)  
- 柏木の源氏への畏怖による衰弱 -
- 歴史講座③ 源氏物語講座 柏木と女三宮の運命と薫の誕生②  
日 時:7月23日(土)  
講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)  
- 女三宮の若君(薫)誕生 -
- 歴史講座④ 鎌倉殿と伊予の武士たち  
日 時:8月20日(土)  
講 師:久葉 裕可氏(新居浜市市史編さん室専門員)
- 歴史講座⑤ 源氏物語講座 柏木と女三宮の運命と薫の誕生③  
日 時:9月24日(土)  
講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)  
- 柏木の死、女三宮の出家、若君(薫)五十日の祝い -
- 古文書講座 13:30~15:00**
- 古文書講座① 新谷藩郡奉行視察記録を読む①-岩谷口村日野家文書より-  
日 時:8月28日(日)  
講 師:安永 純子(当館学芸員)
- 古文書講座② 新谷藩郡奉行視察記録を読む②-岩谷口村日野家文書より-  
日 時:9月18日(日)  
講 師:安永 純子(当館学芸員)
- 考古講座 13:30~15:00**
- 考古講座① 愛南町の縄文遺跡・平城貝塚-発見131年目の事実-  
日 時:5月14日(土)  
講 師:松本 安紀彦氏(愛南町教育委員会)
- 考古講座② とっとり弥生の王国プロモーション推進事業 日本海を望む弥生の村と人々  
日 時:7月24日(日)  
講 師:瀧田 竜彦氏(鳥取県地域づくり推進部とっとり弥生の王国推進課)
- 民俗講座 13:30~15:00**
- 民俗講座① 愛媛の災害と言ひ伝え-自然災害伝承碑に学ぶ-  
日 時:6月18日(土)  
講 師:竹井 賢二氏(愛媛県立松山南高校教諭)
- 民俗講座② えひめの気になる神さまたち  
日 時:9月3日(土)  
講 師:佐伯 直紀氏(公益財団法人愛媛県文化振興財団総務事業部)

- 体験講座**
- 体験講座① 押し花アート  
~自然のあたたかさを感じて~  
〈額とハガキ2枚を作ります〉  
講 師:小島 弘子氏(押し花アーティスト)  
日 時:5月28日(土) 13:30~15:30  
対 象:小学生~一般 ※小学生は保護者同伴  
参加費:3,000円  
【締切】:5月14日(土)
- 体験講座② はじめてのアロマ  
~日本の香り 和精油の魅力~  
〈ルームスプレーと練り香水を作ります〉  
講 師:森 なほ氏  
(健康のごと研究所midi和精油講座認定講師)  
日 時:6月5日(日) 13:30~15:30  
対 象:小学生~一般 ※小学生は保護者同伴  
参加費:1,500円  
【締切】:5月22日(日)
- 体験講座③ 四国西予ジオミュージアムと穴神洞遺跡を訪ねる **バスツアー**  
定員20名  
講 師:四国西予ジオミュージアム学芸員ほか  
日 時:7月2日(土) 12:00~17:30  
(現地集合でも可)  
対 象:愛媛県内の小学生~一般  
※小学生は保護者同伴  
参加費:1,000~1,500円(予定)  
【締切】:6月18日(土)
- 体験講座④ 一閑張り~かごバッグ作り~ **2回連続講座**  
定員15名  
第1回上張り 7月9日(土) 13:30~15:30  
第2回仕上げ 7月16日(土) 13:30~15:00  
講 師:木城 香代氏(手仕事工房 雅楽多や主宰)  
対 象:小学生~一般 ※小学生は保護者同伴  
参加費:3,000円  
【締切】:6月25日(土)
- 体験講座⑤ 松山の近代洋風建築を訪ねる -萬翠荘と愛媛県庁本館-  
定員20名  
日 時:9月10日(土)  
13:00~16:00(現地集合)  
講 師:三浦 彩氏  
(愛媛県教育委員会文化財保護課学芸員)  
対 象:愛媛県内の小学生~一般  
※小学生は保護者同伴  
参加費:500~1,000円(予定)  
【締切】:8月27日(土)

**講座受講時のお願い**

- ①受付時に手指の消毒をお願いいたします。
- ②マスクの着用をお願いいたします。
- ③講座の写真撮影、録画・録音はご遠慮ください。

**申込方法**

**お問い合わせ**

希望する講座名・講座番号とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、**開講日の1週間前**までにハガキなどでお申し込みください。  
※定員に満たない場合は、申込締切後にも受付可です。

企画普及グループ・歴史文化講座係  
TEL(0894) 62-6222 FAX(0894) 62-6161

**展示スケジュール**

2022.4-2023.3

2022	4	特別展 「なばたとしたか こびとづかんの世界展」	常設展 えひめの歴史と文化 新常設展 密・空と海ー内海清美展
5	テーマ展 「よろいかぶと展」		
6	4月16日(日)~6月5日(日)		
7	アニメ化30周年記念企画 特別展 「ちびまる子ちゃん展」		
8	7月2日(土)~9月4日(日) ▶夏休みイベント期間 8月13日(土)~8月15日(月)		
9	特別展 「四国遍路と写し霊場(仮)」		
10	9月17日(土)~11月27日(日)		
11	▶開館記念日イベント 11月13日(日)		
12			
2023	1	▶新春イベント2023 令和5年1月2日(月)・3日(火)	
2	特別展 「学校の宝物」		
3	令和5年2月11日(土・祝)~4月6日(木)(仮)		

**ご利用案内**

■開館時間 9:00~17:30(入館は17:00まで)  
■休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)  
■観覧料

	区分	一般	団体(2割引)
常設展・ テーマ展	大人(高校生以上)	540円	440円
	中学生以下	無料	無料
	65歳以上	280円	230円
新常設展	観覧無料		

※特別展の観覧料はその都度定めます。 ※団体は20名以上です。  
※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。

**Museum Calendar 2022.4-6**

4月					5月					6月				
日	月	水	木	金	日	月	水	木	金	日	月	水	木	金
			1	2	1	2	3	4	5	5	6	7	8	9
3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12	13	14	15	16
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	19	20	21	22	23
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	26	27	28	29	30
24	25	26	27	28	29	30	31							

■ 休館日 ■ 臨時休館日



愛媛県歴史文化博物館  
MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営:指定管理者 いよつ総合企画  
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2 電話:0894-62-6222  
【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>  
●発行日 令和4年3月29日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館

# 歴博だより

Museum of EHIME History and Culture News

特別展  
なばたとしたか  
**こびとづかんの**  
世界展

2022年  
**4.16(土) - 6.5(日)**

休館日/4月18日(月)、25日(月)、5月6日(金)、  
9日(月)、16日(月)、23日(月)、30日(月)

**開館時間**

**9時~17時30分**  
(入館は17時まで)

**観覧料**

大人(高校生以上)  
**1000円(800円)**

65歳以上  
**600円(480円)**

小・中学生  
**500円(400円)**

※()は20名以上の団体料金  
※特別展観覧券で常設展もご覧いただけます。



こびと研究者でイラストレーターなばたとしたかさんが描く絵本『こびとづかん』。2006年に刊行以来、多くの人々を惹きつけ、子どもから大人まで、多くの人を夢中にさせています。

主人公がじいじに貸してもらった「こびとづかん」を片手に、草むらや森の中で、昆虫でも植物でもないふしぎな生き物「コビト」を見つけるストーリー。日常のなかでふと感じる気配や不思議なできごとの数々の正体として「コビト」を描くことで、なばたは個性的ながら私たちに親しみやすい作品を生み出してきました。

本展では、『こびとづかん』シリーズの原画と、制作の過程がうかがえるスケッチや試作本、著者がみずから立体化した「コビト」のフィギュアのほか、絵画や映像作品などを展示します。『こびとづかん』刊行から15周年を記念した展覧会で「コビト」ワールドをぜひお楽しみください。

【主催】愛媛県歴史文化博物館  
【協力】ロクリン社・ナバーランド  
【企画制作】株式会社オフィス渋谷  
【後援】愛媛県市町教育委員会連合会・愛媛新聞社・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・ケーブルネットワーク西瀬戸・八西CATV・西予CATV・宇和島ケーブルテレビ・FM愛媛・FMがいが

考古

## 銅矛の発見記録としての棟札 (久枝村山王宮再興記)

年代：享保14(1729)年  
サイズ：全長152.0cm  
所蔵：日吉神社蔵(当館保管)



棟札とは、寺社等の建物の棟上げの際に、後世のため経緯や日付を書いて棟木に打ち付けておく板のことです。今回紹介する棟札は、昨年開催したテーマ展「東予と南予の弥生文化と青銅器」にて西予市宇和町久枝大窪台から出土した広形銅矛の来歴を示す資料として、展示をしていました。この度、同神社関係者の皆様のご尽力により当館に寄託されたものです。

本資料は、享保14(1729)年に久枝村に山王社が再興された際に、永長村の常居寺住職の玄如がその経緯を記した棟札で、神主をはじめ、庄屋、組頭、横目、大工の名前と氏子中が願主として下部に書き加えられています。棟札によると、かつて、久枝村大窪台の山頂に山王大権現を祀っていたが、行くのが困難なことから、中腹に移しました。それから時が経ち、寛文11(1671)年になり、長七という人物が山王の古跡において、檠戟(銅矛のこと)6個を発見しました。宇和島藩に報告したところ、4個は宇和島城の山王社に納められ、残りの2個が久枝山王社の宝物となりました。また同じ頃、三蔵という人物がそれとは別に檠戟15個を新たに発見しました。同藩に報告したところ、1個を宇和島藩主に納め、残り14個が久枝山王社の宝物となりました。そこで、願主の一人、庄屋古谷貞綱の父親直綱の頃に山王社の再建を志したが実現せず、貞綱の時代になり、ようやく再興を果たしたというものです。

2度にわたる銅矛の発見を機に神社を再興しようという当時の人々の思いが分かる記録であるとともに、同所にて、寛文11年前後に2回の銅矛の発見があり、計21点の銅矛を発見したことがわかる貴重な記録でもあります。

この度、本資料が当館に寄託されたことは、地元の人々が信仰する神社に納められた「地域の宝物」を未来に残そうとする意志によるものといえます。このように時代を超えて継承されてきた思いに少しでも応えられるように、大事に資料を保存するとともに、先学の研究を基に新たな発見を求めて、引き続き、調査研究を続けていきたいと考えています。

(専門学芸員 富田尚夫)

歴史

## 段飾り

年代：昭和時代初期  
所蔵：当館蔵

桃の節句を彩るひな飾り。江戸時代には、内裏雛を飾って祝うことが定着したと言われていますが、江戸時代終わりには、祭りの要素が加わって華やかさを増し、飾る人形の種類が増えていきます。三人官女、五人ばやし、隨身、仕丁といった現在でもおなじみの人形たちだけでなく、歌舞伎などの名場面など風俗を模した「浮世人形」も売り出され、数段のひな段をこしらえてたくさんの人形を飾るようになりました。

今回紹介する段飾りは昭和初期のもの。ひな段には、上から御殿の中に内裏雛と三人官女、隨身、五人ばやしとつづき、その下の段には、浮世人形やひな道具を所狭しと飾ります。3段目、4段目に並ぶ浮世人形たちは、親戚からお祝いで贈られたもので、女の子が誕生すると親戚たちは、お互いに贈る人形がかぶらないよう相談しあっていたと聞きます。高砂(尉と姥ともいう)は必ずといってよいほど並びますが、それ以外は源義経や小野小町といった歴史上の有名人物を模したのから、舌切り雀、浦島太郎といったおとぎ話の登場人物までバラエティに富みます。また、着せ替え遊びのお人形からお土産で貰った小さくてかわいいものたちが続々と出てくることもあります。家人たちが手持ちのかわいいものたちをひな段に総動員していたのでしょう。

(専門学芸員 宇都宮美紀)



赤糸威胸白二枚胴具足(大洲藩主加藤泰恒所用)  
江戸時代中期/当館蔵  
大洲藩3代藩主加藤泰恒(明暦3(1657)年~正徳5(1715)年)が元服する際に製作された「よろいかぶと」。全体的に赤と白を基調とし、白檀塗をほどこすなど凝った作りで、吉祥紋を配した陣羽織も付属。



紺糸威桶側二枚胴具足(大洲藩主加藤泰興所用)  
江戸時代前期/如法寺蔵・当館保管  
大洲市指定文化財  
大洲藩2代藩主加藤泰興(慶長16(1611)年~延宝5(1678)年)が、寛永14(1637)年に島原の乱が起こった際、出陣するために用意した「よろいかぶと」。兜と陣羽織には鶴の羽毛が植込まれており、個性的な作り。

テーマ展

## よろいかぶと展

日本では、ひかしからさまざまな戦いがくり返されてきました。「よろいかぶと」は、戦いのときに矢や刀などの攻撃から自らの体を守るための武具です。

この展示では、端午の節句にあわせ、当館が収蔵する戦国武将の子孫や江戸時代の大名家に伝わった「よろいかぶと」を一堂に会するとともに、関連する武具なども展示します。端午の節句に「よろいかぶと」を飾ることは、災いから身を守り、子どもの健やかな成長を祈る習わしとして江戸時代から広まりました。この機会に、貴重な「よろいかぶと」の数々をご覧ください。

2022年

4月16日(土)~6月5日(日)

場所：考古展示室  
観覧料：常設展観覧料

(高校生以上540円、65歳以上280円、小中学生無料)

## 特別展 なばたとしたか こびとづかんの世界展

関連イベントのご案内  
2022年4月16日(土)~6月5日(日)の  
土・日・祝日

受付時間：10:00~11:30 / 13:00~15:30

場所：エントランスホール

※各ワークショップは材料が無くなり次第終了します。

※各ワークショップの友の会会員割引は期間中1回のみ有効です。

こびとづかんの世界展  
オリジナルサコッシュ  
をつくろう!

コビトが印刷されたサコッシュバッグに  
布用のペンでぬりえをしよう!  
材料代/700円(友の会会員割引なし)



コビトのウォータードーム  
をつくろう!

瓶の中にコビトや飾り、ラメを入れて  
作ってみよう!  
材料代/400円(友の会会員は300円)



© Toshitaka Nabata

## れきはくのおしあと

テーマ展「おひなさま」に合わせて、「木目込み細工で吊るし飾りをつくろう!」というワークショップを行いました。「木目込み細工」がもともとどういふものなのか、少しでも知るきっかけになればと、博物館ボランティアさんから木目込み人形の土台と、本物の木目込み人形をお借りして、展示をさせていただきました。土台に彫り込まれた溝に布の端を入れ



込むことを「木目込む」というそうです。本当の土台を用意するのは難しいので、今回は発泡スチロールの球を使用して鞠を作るという行程になりました。大人の方でも作成に40分ほどかかるので、お子さんは途中で飽きてしまうかな?と心配をしていましたが、根気強く最後までもくもくと取り組んでいるお子さんが多く大変驚きました。仕上がりもみなさん素敵で年代問わず楽しんでいただけるワークショップになってよかったです。

